年頭のご挨拶

奥出雲町長　井上勝博

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えになりましたことと存じます。

先ずもって心からお慶びを申し上げます。

昨年は、奥出雲町発足五周年の節目の年にあたり、記念式典を盛大に挙行したほか、六月には将棋の羽生善治棋聖が来町され「第八十一期棋聖戦」が、七月には「与謝野晶子短歌文学賞」が開催されるなど様々なイベントや行事を行い、町内の一体感を更に強めることができた大変意義深い年でありました。

国内では、夏の参議院選挙において与党民主党が、大きく議席を減らし過半数割れに追い込まれ、アメリカでもオバマ大統領率いる与党民主党が中間選挙で惨敗するなど、長引く景気の低迷は政局に大きな影響を及ぼしました。また、全国各地で豪雨災害が相次ぎ、島根県でも犠牲者が出るなど、その後の猛暑とも相まって、国民生活が大きく揺れ動いた一年でもありました。

このような中、スポーツでは本町の個人・団体が大活躍しました。四月には、「宍道湖一周駅伝競走大会」で、奥出雲町チームが初優勝を飾られ、ホッケーでは、春の「全国高等学校選抜ホッケー大会」で、横田高校ホッケー部男子が優勝、女子が準優勝に輝いたほか、秋の国体では女子が準優勝、男子が第三位に入る活躍をされました。

中学生の全国大会での活躍も目覚しく、「全日本中学校陸上競技大会」女子走高跳において、仁多中学校三年の宇田川萌乃香さんが島根県中学校記録で準優勝、続く秋の「ジュニアオリンピック」では、大会新記録で優勝に輝かれたほか、「全日本中学生ホッケー選手権大会」では、横田中学校女子ホッケー部が第三位の成績を収められました。

また、新春を飾る伝統の箱根駅伝では、本町出身の松原健太さんが三年連続で出場されるなど、町民の皆様が各方面で目覚しい活躍をされ、明るい話題で奥出雲町の勢いを更に高めて頂きました。

さて、日本経済は、政府による切れ目のない緊急経済対策の効果が出ているものの、依然として厳しい社会、経済状況が続いています。

今後も国の補正予算約四兆八千五百億円の追加経済対策や、平成二十三年度予算の動向を注視しながら、地域に密着したまちづくりや景気対策に積極的に取り組んで参ります。

こうした中、本町の平成二十二年度の一般会計予算は、十二月補正予算後で、約百五十九億九千万円を計上することになりました。

本年一月には、亀嵩小学校の新築整備が完工し、新校舎での授業が開始されます。さらに、皆様から要望の多い道路の改良舗装、横田地域の上下水道整備、八川・馬木地区の携帯鉄塔用伝送路整備、ICTを利用した高齢者の皆様の生活サポート事業など多くの事業を進めたところです。

また、次世代を担う子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりとして、多子世帯の医療費助成や保育料無料化を制度化したほか、子育て支援室を教育委員会に新設し、幼児教育と保育を一体化した取り組みを進めて参りました。医療福祉についても、中学校三年の女子生徒を対象とした子宮頸がん予防ワクチンの接種、高齢者の肺炎重篤化予防のためのワクチン接種を助成するなど、制度の充実を行いました。

平成二十一年度決算における奥出雲町の財政健全化比率は、全ての基準値をクリアし、財政の健全度、柔軟性を示す経常収支比率も八十二・三%と、昨年より更に三・七ポイント改善し、県下二十一市町村の中で最も低い比率となっています。

しかしながら、返済すべき町の借入金等の割合を計る将来負担比率は、公債費の繰上償還などにより、年々改善しているものの、他の市町村に比べ、依然、高い水準にあります。

今後も健全な財政運営を堅持しながら、引き続き、町民の皆様から要望の多い生活基盤の整備や基幹産業である農業の振興、町内企業の成長支援、観光振興施策などに取り組んで参ります。

また来年は、古事記が編纂され千三百年を迎えることから、島根県においては、大規模観光キャンペーン「神々の国しまね～古事記千三百年」が実施されます。スサノオノミコトが天下った鳥上の峰（船通山）をはじめ、ヤマタノオロチ退治神話の舞台である奥出雲の大きな財産として、豊かな自然や古き良き文化・歴史をこの機会にPRし、交流人口の拡大に全力を挙げて取り組んで参ります。

これから平成二十三年度の予算編成に入りますが、「笑顔と語らい、元気あふれる町づくり」をスローガンに、潤いと活力にあふれた奥出雲町を皆様と一緒になって創っていきたいと存じます。

結びに、本年が、皆様にとりまして、明るく希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

米寿　おめでとうございます

今年めでたく百五十六人の方（大正十三年生まれ）が米寿をお迎えになられました。町では、祝詞と記念品を贈り、長寿をお祝いしました。

（平成22年12月15日現在）

八代西部　舟木　トヨ子さん
八代西部　松田　末子さん
八代本町　板持　幸子さん
八代東部　多根　タツ子さん
八代東部　前田　チヨ子さん
八代東部　八澤　トミエさん
八代東部　八澤　秀雄さん
中村　石原　常雄さん
中村　難波　タネさん
佐白　安部　光代さん
佐白　藤原　静子さん
上布施　藤井　福永さん
馬駒下　若槻　イツコさん
上三所西部　岩田　成生さん
上三所西部　植田　クニエさん
上三所中央　内田　恒久さん
上高尾　増田　満枝さん
下高尾　長谷川　トミノさん
上三成上　安倍　キミエさん
上三成中　川西　登美榮さん
本町上　中林　安雄さん
中町上　石原　美子さん
湯の原　藤原　輝代さん
矢谷　和久利　八千代さん
石原・里田　糸原　好幸さん
石原・里田　岩田　キヨ子さん

角木乙多田　内田　清子さん
上分　米原　キミエさん
上分　米原　美代子さん
西湯野　若槻　美代子さん
中湯野　佐藤　修さん
久比須　青砥　良行さん
亀嵩町　高橋　久江さん
亀嵩町　横路　フイ子さん
亀嵩町　米澤　貴久子さん
梅木原　藤原　文子さん
大内原　杠　千恵子さん
高田　朝槻　美代子さん
玉峰苑　佐藤　タミノさん
玉峰苑　藤原　ヤス子さん
真地　藤原　ヨシさん
真地　安部　トキエさん
玉峰苑　藤原　ヒデコさん
真地　安部　芳徳さん
米原　田部　重行さん
本町　松崎　明子さん
本町　本松　壽惠子さん
福原　安部　カツ子さん
福原　丹波　繁子さん
あいサンホーム　陶山　安吉さん
あいサンホーム　金山　ハマヨさん
あいサンホーム　飛田　スミ子さん

あいサンホーム　若槻　キミエさん
大上　荒木　スミコさん
大上　内田　サカエさん
下口　酒井　寶さん
堀　片山　枝さん
堀　長谷川　靜さん
堀　平田　富子さん
堀　安原　義丸さん
山根岩田　ウさん
山根岩田　民子さん
山根藤原　ヤエコさん
川子原　藤原　幸子さん
八幡　宮崎　千惠子さん
奥湯谷上　石川　恒子さん
小寄　井上　ナガ子さん
小寄　岡本　ヤエコさん
小寄　菅田　孝代さん
堅田　山田　愛子さん
上鞍掛　安達　アヤコさん
原田　渡部　トミエさん
四日市　飛田　シナ子さん
河内　森山　フデコさん
下鴨倉　田部　輝枝さん
下鴨倉　藤原　登美枝さん
下鴨倉　森山　恒憲さん
下鴨倉　佐伯　二美さん
代山　森山　トヨ子さん
代山　米田　兼造さん
代山　森山　知治さん
山県　森山　好孝さん
中丁　松崎　克美さん
中丁　坪倉　恒夫さん
福頼　高尾　清治さん
中丁　松崎　ヨシコさん
山郡　田邊　代さん
中籾　武田　波さん

日向側　荒木　孝一さん
山根側　淺沼　ヨシコさん
追谷　武藤　英也さん
大曲　淺野　幸雄さん
大曲　田中　誠さん
六日市　岩佐　ノブ子さん
大市　石原　惠吉さん
大市　門脇　正夫さん
大市　中林　ヨシ子さん
大市　眞綿　ヨシコさん
大市　吉田　ヨシエさん
角　和泉　冨美子さん
角　岩佐　鶴光さん
角　千原　ヒロさん
角　二澤　光三郎さん
角　湯川　好子さん
馬場　内田　峯代さん
五反田　安部　幸子さん
五反田　荒井　八千代さん
五反田　佐藤　ヨシノさん
樋口　安部　サダ子さん
蔵屋　茅原　サダヨさん
蔵屋　布村　ナミ子さん
稲田　安部　勝春さん
稲田　内田　房一さん
稲田　杉原　好子さん
稲田　小林　マサヨさん
稲田　中林　民子さん
稲田　福田　トヨ子さん
稲田　藤原　富美子さん
稲田　部田　美代子さん
稲田　宮廻　愛子さん
稲田　若槻　義隆さん
原口　内田　務さん

原口　勝部　孝さん
原口　佐伯　武雄さん
原口　藤原　行夫さん
三井野　平方　キヌコさん
奥八川　荒木　晴江さん
小八川　藤原　ヒデヨさん
小八川　野澤　ヨシコさん
小八川　部田　武吉さん
中八川　小川　浪江さん
八川本郷　今岡　好子さん
八川本郷　山崎　樽之助さん
古市　松浦　惠千子さん
古市　渡部　明子さん
川西　岸本　カヅヱさん
川西　三島　安子さん
土橋　石田　博さん
大谷本郷　林　好子さん
大谷本郷　渡部　幸吉さん
雨川　景山　茂さん
雨川　藤原　フデヨさん
旭　千原　君榮さん
女良木　藤原　ミツヨさん
大黒木第二森　小早川　幸子さん
大黒木第二森　藤田　ツネヨさん
大黒木第二森　藤本　元市さん
大黒木第二森　本山　石江さん
大黒木第二森　戸屋　愛子さん
堅田・野伏　廣田　八重子さん
反保　戸屋　俊さん
矢入・中原　須山　春枝さん
本谷　佐々木　千秋さん
本谷　藤原　ヨシエさん
小森　松本　勇雄さん
小馬木本郷　吉川　善盛さん